読み方のポイント　漢文を日本語の順に読む

一　**三つの文**　**白文**＝漢字だけで書かれた、もとの漢文。**訓読文**＝白文に返り点・送り仮名・句読点をつけたもの。**書き下し文**＝訓読文を、日本語の順に、漢字かなまじりで書き直したもの。

二　**送り仮名**　漢字の右下に小さく書くカタカナ。歴史的仮名遣いで書く。書き下し文では**ひらがな**にする。

三　**レ点**　下の一字を読んでから、**すぐ上の一字に返る**。例　読書（書を読む）　書→読の順。

四　**一・二点**　**二字以上はなれた**上の字に返る。一点の字まで読んだら、二点の字に返る。例　帰故郷（故郷に帰る）　故→郷→帰の順。

五　**読む順のきまり**　返り点のついていない字は、上から順に読む。返り点のついた字は、あとまわしにする。

六　**書き下し文のきまり**　日本語の助詞・助動詞にあたる字（「不」→「ず」、「之」→「の」など）はひらがなにする。「而」「矣」「於」のように、**読まない字（置き字）**は書かない。

例題　**次の訓読文を、書き下し文に直しなさい。（1）登ルニ高山ニ　（2）不知レ**ラ

解き方　（1）返り点のない「高」「山」を先に読む。一点の「山」まで読んだら、二点の「登」に返る。送り仮名の「ニ」「ル」をひらがなにして「高山に登る」。

（2）レ点があるので、「知」を読んでから、すぐ上の「不」に返る。「不」は打ち消しの「ず」にあたるので、書き下し文ではひらがなで「ず」と書く。

答え　（1）高山に登る　（2）知らず

宿題　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

『論語』は、昔の中国の思想家、孔子が語ったことばや行いを、孔子の死後、弟子たちがまとめた書物である。次のA・Bは、その中のことばである。「子曰（しいわ）く」は「先生（孔子）がおっしゃるには」という意味。

【A】子曰ハク、学ビテ而不レバ思ハ則チ罔シ。

思ヒテ而不レバ学ビ則チ殆シ。

（書き下し文）子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔（くら）し。思ひて学ばざれば則ち殆（あやう）し。」と。

（意味）先生がおっしゃるには、「人から教わって学ぶだけで、自分で考えなければ、物事ははっきりとわからない。自分で考えるだけで、人から学ばなければ、ひとりよがりになって危ない。」と。

【B】子曰ハク、己ノ所ハ不ルレ欲セ、勿カレ施ス二於人一ニ。

（書き下し文）子曰はく、「己（おのれ）の欲せざる所は、人に施（ほどこ）す勿（な）かれ。」と。

問一　【A】の訓読文で、書き下し文に書かない字（置き字）を一字抜き出しなさい。

□

問二　【B】の「勿カレ施ス二於人一ニ」を読む順番に、読まない字を除いて、漢字を書き並べなさい。レ

□□□

問三　【A】の孔子のことばの考え方に最も合うものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　先生の話をよく聞けば、自分で考える必要はない。

イ　自分でよく考えれば、人から学ぶ必要はない。

ウ　学ぶことと自分で考えることの、両方が大切である。

エ　学ぶことも考えることも、あまり大切ではない。

□

問四　【B】のことばの意味を、次のようにまとめた。［　　］に入ることばを、書き下し文と「欲せざる＝したくない、望まない」「施す＝する、行う」をもとにして、「自分」「人」という二つのことばを使い、二十字以上、二十五字以内で書きなさい。

【B】のことばは、［　　］という意味である。

解答（答えと短い解き方）

漢文の返り点・書き下し 基礎① レ点・一二点と置き字

宿題

問一 而

「学びて」「思ひて」の「て」は送り仮名で表されていて、「而」は読まない。このように読まない字を置き字という。

問二 人施勿

「於」は置き字。一点の「人」まで読み、二点の「施」、レ点の「勿」に返る。「人に施す勿かれ」。

問三 ウ

学ぶだけでも考えるだけでもいけない、どちらか一方だけではいけないと言っている。

問四 （例）自分がされたくないことは、人にもしてはいけない

「己の欲せざる所」は自分がされたくないこと、「人に施す勿かれ」は人にしてはいけない、の意味。